

■ 一 時松辰夫先生の追悼 シンポジウム 一

『 時松辰夫の想い（思想）を学び、今後はどう活かすか 』を語る会

■開催主旨

時松辰夫先生は、2021年1月3日に83歳で死去されました。立ち止まった工業デザイナーと言われる秋岡芳夫の思想を形にしたクラフトマンでもあります。大分県日田産業工芸試験所研究課デザイン室主任研究員を退職し、秋岡芳夫が代表となる東北工業大学工業意匠学科第三生産研究室の客員研究員（非常勤講師）となり、岩手県旧大野村「一人一芸の村づくり」の具現化に務めました。その後、北海道置戸町「オケクラフト」構想等、東北北海道及び全国各地での地場産業振興に尽力されました。この間の指導した木工塾生は300人を超えております。本格的な活動拠点として、大分県湯布院町からの要請もあり「アトリエときデザイン研究所」を1991年4月に設立し、湯布院のまちづくりにも寄与いたしました。

秋岡芳夫の思想を継承し、林業を通じた地域づくりの新たな道しるべを示してくれた時松辰夫先生への追悼の意も込めたシンポジウムを開催することにいたしました。

これからの時代は新たな価値を協働で構築しつつ、様々な課題を解決しなければならない「共創のデザイン」が強く求められております。時松・秋岡両先生のこれまでの軌跡をたどりつつ、今後はどう活かすかを、両先生と活動を共にした方々も交えた語り合いを持たせていただきました。

地域のくらし共創デザイン研究所より



■日時：2021年9月23日（木・祝）午後13時30分～

■会場：ホスト会場は東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所（伊藤美由紀研究室）

参加者はすべてオンライン（zoom会議）と致します

申し込み方法：事前申込制（9月20日締切）



お申し込み
QRコード

お申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/4pL7qt7d64>

■共催：東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所 東北工業大学 地域連携センター

■内容

●第一部（@10分/人×6＝60分）

～ 時松辰夫先生から学ぶ ～

パネリスト

- ◎中家 正一（岩手県洋野町・前大野村産業デザインセンター所長）
- ◎佐藤 明（元宮城県産業総合技術センター所長・前東北工業大学地域連携センター事務長）
- ◎和田 薫（北海道置戸町・おけと森林文化振興協会理事長）
- ◎甲斐 暢夫（大分県湯布院町・甲斐のぶお工房主宰）
- ◎菅村 大全（グループモノモノ代表）
- ◎舩岡 和夫（東北工業大学名誉教授）

コーディネーター

- ◎菊地 良覚（東北工業大学特命教授）

●第二部（60分）

～ 秋岡・時松両先生の思想を今後どのように活かすか ～

第一部の登壇者と参加者全員でのトークすることといたします

【問い合わせ先】東北工業大学（伊藤美由紀）Email：nsmiyuki@tohtech.ac.jp